

## 第69回全国高等学校PTA連合会大会 京都大会について

PTA副会長 太齋 三世子



「kyo から！未来を拓く」をテーマに、令和元年8月21～23日の3日間に渡って全国大会が開催され、私は校長と共に8月22日～23日の2日間参加させていただきました。

第1分科会では「<よくできる>とはどういうことか？」をテーマに、歌人・京都産業大学タンパク質研究所所長 京都大学名誉教授 永田和宏先生に教えていただきました。これからの社会では、十分な知識をもち、思考・判断力・表現能力を臨機応変に発揮しながら、主体性をもって多様な人々と協力して学ぶことで、働く力・逞しさを身につけることができるということを学びました。2日目は、日本電産株式会社 代表取締役会長 永森 重信氏「学校教育・家庭教育に思うこと」というテーマでの講演でした。「高学歴が活躍するとは限らない」と指摘され、「偏差値やブランドではなく、何をやりたいかで大学を選ぶべき」と話されていたことが印象的でした。母親は勝手に子供の将来を決めないこと、子供のやりたいことに寄り添うことの大切さを教えていただきました。子供のためと思い、自分の考えや理想、思いを押しつけていたことを反省し、子供が本当に将来は何をやりたいのかに耳を傾けていきたいと思います。

このような機会を与えていただいた、校長先生をはじめ先生方、保護者の皆様に感謝いたします。今後ともPTA活動に少しでも生かせるように、取り組んでいきたいと思いますのでご協力お願いいたします。